

令和2年度第1回我孫子市地域公共交通協議会結果

1. 「議題（1）平成31年度我孫子市地域公共交通協議会 決算及び監査報告」について

不承認0名となり、承認されました。

意見	回答（事務局）
運転免許証の返納は今後とも増加する事と思う。その予定で予算を組む必要がある。	免許証返納者の方に既存公共交通を数多く利用していただき、公共交通が維持確保されるよう進めていきたいと考えています。そのための予算の確保に努めていきます。

2. 報告事項に関する意見

（1）深夜シャトルバス実証実験延期について

意見	回答（事務局）
阪東自動車(株)路線バスの夜間減便状況について、43便から42便に訂正願います。	了解しました。本通知をもって訂正をお知らせします。
現状、深夜時間帯については、減便対応しており、実証実験の開始時期については、当社減便が解除となった後が適当であると考えます。	新型コロナウイルスの感染拡大による新しい生活様式の実践が社会全体で平常化している部分もありますので、シャトルバスの運行方法については、市民生活の実態に即し、再考したいと考えています。
運行ルートや時刻・運賃について、既存事業者と十分協議を行った上で会議に諮っていただきますようお願いいたします。	了解しました。本協議会での審議も含め、既存事業者との調整を図り、進めていきたいと考えています。

(2) 事業報告（あびバス、ふれあいバス、運転免許証自主返納優遇制度）

意見	回答（事務局）
<p>運転免許証自主返納制度について、利用者数の把握に人力がかかり、運転士業務の軽減のため、定額制シルバーパス制度の検討をお願いしたい。</p>	<p>協議会で実施している運転免許証自主返納者優遇制度については、多発する高齢ドライバーの事故を未然に防ぐため、きっかけとしてもらう制度となっていますので、定額制シルバーパスのように高齢者の移動支援となると制度の再構築・転換が必要と考えます。また、財政面からも非常に厳しい部分もありますので、事業転換の際、事業者主体事業に対して、全額とはいきませんが補助・支援を行うような形が望ましいと考えます。</p>
<p>運転免許証自主返納優遇制度に対し、引き続き支援をお願いします。</p>	<p>市の重点施策でありますので、引き続き推進していきます。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、公共交通事業者は非常に厳しい立場にありますが、連携し取り組んでいきます。</p>
<p>あびバス時々利用させてもらっています。通勤時間帯以外の本数をもう少し増やしていただきたい。湖北駅～新木地区巡回ルート</p>	<p>いつもご利用ありがとうございます。あびバスについては、1ルート1台のバスで運行しているため、スポット的な増便は難しいですが、今後の路線再編等を検討する中で、全員に合わせることは難しいですが、地域の必要な時間に合わせた時刻表となるよう検討していきます。地域が必要な時間帯などの情報があれば、運行改善の参考にさせていただきますので提供いただくと幸いです。</p>

(3) 我孫子市地域公共交通会議設置要綱の制定について

意見	回答（事務局）
<p>道路運送法第9条の3に地域公共交通会議の構成員の規定がございます。同上第3号に「一般乗合旅客自動車運送事業者その他の一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体」とあります。こちらに該当する者も構成員に加えていただく必要がございますので、ご留意ください。</p>	<p>バス協会・タクシー協会などと調整を図り構成員を選定していくようにします。</p>

3. 新型コロナウイルスの感染拡大について

意見	回答
<p>路線バスは旅客が居なくとも定時での運行が義務付けられており、新型コロナウイルスの影響による運行赤字が日々続いている。</p> <p>ご承知の通りバス運転士についても常に不足が続く状態にあり、今回の新型コロナウイルスの影響が給与面に影響し、さらなる人材不足に拍車を掛ける事が予想されます。</p> <p>地域公共交通を今後も継続させる為にも、運行に対する補助を検討頂きたい。</p>	<p>エッセンシャルワーカーとして、緊急事態宣言下においても、市民の生活の足を止めずに運行を継続してきた公共交通事業者皆様には、市民に代わり深く御礼を申し上げます。</p> <p>限られた財源の中ですが、公共交通が維持確保されていくよう努めていきたいと考えます。7月に実施した感染対策等の短期的なものに加え、長期的な支援・活性化策ということも検討していきたいと考えています。乗客が少ないバス路線については、あびバスとの共存共栄を目指す再編なども検討を進める必要があると考えます。</p> <p>こういった部分を含め、次年度より地域公共交通計画の策定を進めていきますので、引き続きご協力をお願いします。</p>
<p>公共交通事業者は厳しい立場であることを公表し、地域で交通を支えていく方法を考えるべき。</p>	<p>多くの市民の方は、公共交通事業者皆様の厳しい状況を把握していないものと考えます。連携計画では、「地域が育む」ということを記載していますが、今後は「地域が支える」ということを重要なテーマにすることが必須と考えています。今回の新型コロナウイルスの影響による公共交通の苦労については、様々な場面で市民に周知していくつもりです。</p>
<p>公共交通機関は、車を利用しない者にとっては欠かせないものであります。民間企業ではありますが、市民全体で支えていくべきであると考えます。</p>	<p>委員のご意見の通りと考えます。</p> <p>しかし、残念ながら多くの方が、今のバス・タクシーが当たり前にあるものと思っています。無くなってからでは遅いものとなりますので、地域が公共交通を支える仕組みを構築する必要があると考えます。</p>

その他

意見	回答
<p>国道356バイパスの整備ありがとうございます。その他日秀踏切からの交差点に信号がありません。久遠苑・佐川急便からJA ガソリンスタンドの中間。視界は良好ですが、信号機は必要です。</p>	<p>ご指摘箇所の信号機設置・安全性確保については、本書も含め、関係機関（道路課・市民安全課・警察・千葉県）に周知させていただき、改善に取り組んでいきます。</p> <p>なお、国道356バイパスへの接続道については、湖北台～若草幼稚園～バイパスを繋ぐ都市計画道路の整備を進めています。開通までに時間を要しますが、この道路が開通すれば、地域の利便性・安全性が向上していくものと考えますので、今後、整備後の都市計画道路との連動も含めた安全対策を検討していきます。</p>
<p>来年度、旧住宅展示場跡(国道6号線沿い)に大型ショッピングセンターができる予定である。それに伴いあびバスの停留所・時間の変更も必要になるかもしれない。</p>	<p>路線バス・タクシー利用増を含め、市民の移動が活性化することを期待しています。</p>